

パブリックコメント 提出意見一覧

No.	改定案 ページ	ご意見	回答
1	P53	<p>【意見の概要】 EVの導入については、アンケート結果で「導入する予定はない」と「よく分からない」が約76%を占めており、導入する予定がない理由としては「価格が高い」が58%と最も高くなっていることから、今後、太陽光発電と蓄電池の組み合わせによる充電に要する電気代の削減等といった経済的なメリットを発信すると同時に、次世代自動車購入に補助金制度の導入をご検討いただきたい。</p> <p>【理由】 隣接の美郷町では環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速事業)」の採択を受けられ、「ゼロカーボン促進事業補助金」として、町内の一般家庭や民間事業、農業従事者への幅広く手厚い補助を実施し、電気自動車の普及と災害時の非常電源を目的として、次世代自動車購入に県内で初めて独自の補助金交付を開始していることから、飯南町でも具体的で町民が魅力を感じる対策の明示があれば脱炭素の取り組みへの関心が高まると思うから。</p>	<p>現時点でEV車をはじめとした次世代自動車(電動車)については、価格が高い状況にありますが、ご意見にもあるように、太陽光発電・蓄電池・V2H等の再エネ設備との併用で、ランニングコストの面や環境に配慮した移動手段として、メリットが伝わる普及啓発を行うほか、実際に次世代自動車に触れていただく機会なども検討しています。また、国が実施しているCEV(Clean Energy Vehicle)補助金等の次世代自動車購入支援策についても町民の皆さんにお知らせしていくとともに、今後、国等の各種補助事業を活用した事業展開も行っていきたいと考えています。ご意見として、参考にさせていただきます。</p>
2	P10 図8	<p>木の酒 実用化について 2020年に森林総合研究所が木から酒を造る技術を発表。 実現までは遠いと思われていたが、ベンチャー企業が2024年に商用化すると報道あり。(SDGs:9.12.15) 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所(電話:029-873-3211)に確認したところ、特許は国内の企業から申請を受け、審査を通過した企業に有料で使用权が与えられる。特許使用料は売上に対するパーセント。</p> <p>アイデアとして飯南町においては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロモジを漬け込みではなく木そのものを酒にする ・飯南町の杉 ・牡丹の木の枝 ・森林を選定した枝、生育不良で用途のない間伐材 ・製材所の鋸くず ・派生として大しめ縄の切り落としの切りくず 等原料がふんだんにある。 <p>酒の製造においては、原材料の調達、高騰が非常に大きなウェイトを占める。飯南町では容易に原材料を入手でき、持続的な産業維持が可能となる。</p> <p>詳細は別紙。</p>	<p>本町の森林資源を有効活用することは、循環型社会を形成していく上で、大事な視点であると考えています。 ご意見いただいた木の酒については、新技術ということで、調査研究が必要と考えます。ご意見として、参考にさせていただきます。</p>